

みらいりんぞうの 「みらいのいいところ」散歩

昨年9月に実施した「イメージキャラクター総選挙」で最多得票を獲得し、市のイメージキャラクターに決定した「みらいりんぞう」。

この特集では、未来からやってきたヒバリの子「みらいりんぞう」と一緒につくばみらい市の「良いところ」をめぐり、その魅力を紹介していきます。



岡堰付近の小貝川上空写真。とどもの日は鯉のぼりが泳ぐ。



今回、みらいりんぞうが訪れたのは「間宮林蔵記念館」。この記念館は、18世紀後半に

小貝川沿いの見どころを楽しむ①

間宮 林蔵

- まみや りんぞう -

間宮林蔵は安永9年(1780)に常陸国筑波郡上平柳村(現在の市内上平柳)に生まれました。名は倫宗、号を蕪崇ぶそうといい、林蔵は通称です。小貝川の堰止め工事にあたって、効果的な方法を幕府役人に教え、そこで認められて江戸に出ることになりました。寛政11年(1799)師の村上島之允むらかみしまのじょうに従い、初めて蝦夷地に渡ってから、蝦夷の北辺で20年近く活躍しました。とりわけ樺太の探査においては間宮海峡を発見するなど、偉大な功績を残しました。



この地に生まれ育ち、江戸に出て、北方で活躍した探検家・測量家である「間宮林蔵」を紹介するために顕彰事業の一つとして建設したものです。館内の展示は、間宮林蔵に係るものや彼の生きた時代背景などで構成され、時代に沿った紹介をしています。全国各地から収集した数少ない貴重な資料のほか、現子孫宅に伝わる遺品、林蔵にまつわる史跡などを織り交ぜながらテ-

マごとに展示しています。記念館と同じ敷地内には林蔵の生まれ育った生家が、当時の面影のまま残されています。時代を感じる茅葺き屋根や、建物内も見学できます。中に入ってみると、ひんやりとした空気が流れ、どこか懐かしさのようなものを感じます。記念館の入口正面には、小貝川を背に、彼の育った豊かな田園地帯を見守るように林蔵の像が立っています。憧れの「間宮林蔵」とようやく会うことができたみらいりんぞう。じっと見つめるその瞳には光るものが…?

間宮林蔵記念館

住所：上平柳 64-6
開館時間：午前9時～午後4時30分
休館日：毎週月曜日休館(月曜が祝日の場合はその翌平日)
入館料：100円
連絡先：☎58-7701 (FAX 兼用)

これからもつくばみらい市を探検し「良いところをたくさん発信していく」と誓いを新たにしたみらいりんぞうでした。

